

約8年半の間、知育いすを使いました。本人も自分専用のいすが来て、嬉しそうに座っていたことを思い出します。食事の時やお絵描きの時、お勉強する時にはこの知育いすに座りました。天板の縁が少し高くなっているので、お箸や鉛筆が転がり落ちることもなく、座った時に手の届く範囲が広すぎず狭すぎず丁度良い広さなので、机の上の物を見失うことがありませんでした。成長して腕力がついた頃、いつの間にか自ら天板までセットして座っていたことがあり、とても驚きました。本人がこの知育いすを気に入っていたようです。膝回りのガードのおかげでいすに座ったままあぐらを組むこともなくなり、安定して長時間座っていられるようでした。

年齢とともに身長が伸びて体格が良くなり、いすに座った時のお尻周りがきつくなってきたため、残念ながら知育いす卒業となりました。また、心の成長とともに「自分も家族と同じ椅子に座りたい」という気持ちも強くなってきたようです。今は子どもが家族と一緒に座れる、おしゃれなダイニング用いす（座面が適度な大きさと膝回りのガード付き）が欲しいと思っています。

長年ほぼ毎日使い続けましたが、全て木を使っているのにどこにも歪みやささくれが出来ていなかったところに横山工房さんの木材と子どもたちへの優しさとこだわりを感じました。ありがとうございました。

（右下の絵は息子が夏休みの課題で書いたもので、H27年岡山市「障害者週間」作品コンテストで佳作を頂きました。）

